

# 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

＜圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組＞

区分	テーマ	地域課題の概要
①生活交通の維持・確保	地方ローカル線の利用促進及び沿線地域の活性化	・地方ローカル線では利用者数が減少しており、地方ローカル線及び沿線地域の衰退が懸念されている。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
呉市	令和5年10月1日に施行された改正地域交通法によりローカル鉄道の再構築に関する仕組みが創設・拡充されたことを受け、本市域を通るJR呉線においても、維持・存続に向けた対応をする必要がある。	JR呉線を含めた地方ローカル線が将来的に維持・存続していくための広域的な沿線地域の活性化と、日常的な利用促進を図る方策を検討していただきたい。
竹原市	JR呉線の利用者が減少傾向にあり、駅周辺の衰退が懸念されている。	利用促進及び地域活性化につながる取組を検討していただきたい。
安芸高田市	安芸高田市内を走る芸備線は、近年利用が低迷している状況であり、沿線市町で利用促進等の取組が実施されているが、根本的な解決には至っていない状態である。	JR芸備線の現状及び課題を整理し、沿線地域におけるコミュニティの拡大・創出に向けた取り組みを検討していただきたい。
坂町	本町はJR呉線の沿線にあり、町内には3つの駅を有している。JRは町民にとって主要な移動手段となっており、利用圏域内に高校や大学、事業所等が立地している駅では乗降者数も多く、停車本数が比較的充実している一方、人口が減少し、病院や小売業者、金融機関等の生活基盤施設が撤退している地域にある駅では、停車本数が非常に少なくなっている。	JR沿線の地域コミュニティの活性化を図る方策を検討していただきたい。
世羅町	町外を結ぶ公共交通については、主に通学での利用が多く、ダイヤ自体も通学に対応したダイヤが多く、一般利用が難しい状況となっている。	現状のダイヤを活用した観光客を取り込む利用促進策を提案していただきたい。
岩国市	JR岩徳線及びローカル鉄道の錦川清流線の利用者が減少傾向にある。特に錦川清流線については、近年赤字額が拡大していることから、現在、市として今後の在り方について検討を行っている。	地域住民の日常生活や観光・交流による地域活性化に欠くことのできない鉄道について、将来の日本を担う学生に、若者目線で検討していただきたい。
田布施町	JR田布施駅では、駅員不在となっている。町内の高校が駅前の賑わいづくりの一環としてイルミネーションを実施しているが、賑わいづくりや利用者の増加には至っていない。	JR駅・駅前等の賑わいづくりの取組を検討していただきたい。
邑南町	旧三江線沿線地域である羽須美地域では町内の他地域と比較して人口減少が著しい。持続可能な交通手段の確保や、地域コミュニティの確保が課題である。	はすみデマンドをはじめとした地域の交通課題の解消や、地域課題全体に対して学生に研究テーマとして取り組んでいただきたい。